

11 月 16 日 年間第 33 主日

賜物を生かす

マタイによる福音書 25 章 14～19、24～30 節 *

¹⁴「天の国はまた次のようにたとえられる。ある人が旅行に出かけるとき、僕たちを呼んで、自分の財産を預けた。¹⁵それぞれの力に応じて、一人には五タラント、一人には二タラント、もう一人には一タラントを預けて旅に出かけた。早速、¹⁶五タラント預かった者は出て行き、それで商売をして、ほかに五タラントをもうけた。¹⁷同じように、二タラント預かった者も、ほかに二タラントをもうけた。¹⁸しかし、一タラント預かった者は、出て行って穴を掘り、主人の金を隠しておいた。¹⁹さて、かなり日がたってから、僕たちの主人が帰って来て、彼らと清算を始めた。」

²⁴「ところで、一タラント預かった者も進み出て言った。『御主人様、あなたは蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集められる厳しい方だと知っていましたので、²⁵恐ろしくなり、出かけて行って、あなたのタラントを地の中に隠しておきました。御覧ください。これがあなたのお金です。』²⁶主人は答えた。『怠け者の悪い僕だ。わたしが蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集めることを知っていたのか。²⁷それなら、わたしの金を銀行に入れておくべきであった。そうしておけば、帰って来たとき、利息付きで返してもらえたのに。²⁸さあ、そのタラントをこの男から取り上げて、十タラント持っている者に与えよ。²⁹だれでも持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。³⁰この役に立たない僕を外の暗闇に追い出せ。そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。』

* たとえ話の全容を知るためには 20～23 節も通して読みましょう。

他の朗読：箴言 31:10～13, 19, 20, 30, 31 詩編 128:1～5 I テサロニケ 5:1～6

Lectio … 読む

おそらく、イエスはある段階で彼の時代の宗教指導者たちに、今日のたとえ話が彼らに向けられたものであると理解されるよう意図していました。彼らは悪い僕のように振舞っていました。神の真実を、世の光とするよりも、むしろ隠したのです (マタイ 5 章 14～16 節)。そして天の国の戸を開けるのではなく閉ざしたのです (マタイ 23 章 13、14 節)。

このたとえ話はまた今日の私たちに、神が託した賜物と資質について良い僕であるように教えています。主人が旅に出かけようとしており、それで異なる量のお金を能力に応じて 3 人の僕たちに託します (15 節)。多額のお金に関係していることを認識することが重要です。ここで「タラント」と訳されているものは、当時 1 人の労働者の 15 年分の価値があるお金の 1 単位でした。

5 タラントと 2 タラントのお金で始めた僕たちは 2 倍の額を主人に返したので祝福されます。しかし主人のお金を隠し、主人がいない間、完全に何もしなかった僕は咎められるのです。

Meditatio … 黙想する

24 節は怠惰な僕が主人に対してどのような態度をとったかについて何を表しているのでしょうか。

時間とお金に対する私たちの態度はどのようなものなのでしょうか。私たちはそれらが自分たちのものと思っているのでしょうか、それとも神のものと考えているのでしょうか。

あなたは自分自身を、地上における神の国を広めるための賜物と資質を生かす神の僕だと認識しているのでしょうか。

能力に応じて異なる金額を主人が僕に与えた事実から私たちは何を学ぶことができるでしょうか。

Oratio … 祈る

今日の詩編は「知恵の詩編」と言われています。それは、神に従って生きることによって、神への礼拝のうちに祝福が見出されるということを教えてくれます。詩編 128 編からのこれらの節を通して祈りましょう。そしてあなたに神が託された能力のよき僕でいることができるよう、神に助けを願いましょう。

Contemplatio … 観想する

神があなたに託した全ての能力と資質についてよく考えてみましょう。あなたはそれらを隠していますか、それとも神の栄光のために使っていますか。